

# 2018 年度総会講演のご案内

「当事者セラピストから伝えたい

高次脳機能障害に対するかかわり方」

講師 関 啓子 先生

(三鷹高次脳機能障害研究所所長)

日時 : 2018 年 6 月 10 日 (日) 13:00~14:00 (12:30 受付開始)  
会場 : 大阪保健医療大学 2 号館 6 階 講堂  
大阪市北区天満 1-17-3  
京阪電鉄本線・地下鉄谷町線「天満橋」駅から徒歩約 8 分  
JR 東西線「大阪天満宮」駅から徒歩約 10 分  
地下鉄堺筋線・谷町線「南森町」駅から徒歩約 10 分  
(アクセス詳細につきましては大阪保健医療大学HPをご覧ください。)

主催 : 一般社団法人大阪府言語聴覚士会

参加費 : 会員 : 無料

非会員 : 2,000 円 学 生 : 500 円

\* 日本言語聴覚士協会の生涯学習ポイント対象です。

非会員の方、学生の方は、ホームページ下部の

「イベントお申込み」から事前申し込みをお願いします。

会員の方 (会費納入済み) の方は申し込み不要です。

今回は、高次脳機能障害の臨床・研究で広く知られており、WAB 失語症検査日本語版、BIT 行動性無視検査日本版作製委員として各検査法の標準化・出版にも携わられた、関啓子先生をお招きいたしました。ご自身が高次脳機能障害の当事者となられた後、三鷹高次脳機能障害研究所を設立し、現在も高次脳機能障害の臨床・研究、また、教育にと、ご活躍中です。言語聴覚士の草分け的存在であり、また、高次脳機能障害の当事者、そして、研究者でもある先生のお話は我々が臨床を行う上で非常にためになるお話が伺えるものと思います。お知り合いの方や同じ職場の方、学生さんもお誘いあわせの上ふるってご参加ください。

## 講師略歴

1982 年 国立障害者リハビリテーション学院聴能言語専門職員養成課程卒業。東京都神経科学総合研究所(当時)リハビリテーション研究部門、中村記念病院(札幌市)言語室を経て、2002 年 神戸大学医学部教授、2008 年 神戸大学大学院保健学研究科教授就任。2009 年 7 月 脳梗塞発症、2010 年 5 月 現職復帰。

2011 年 3 月 同大学退職、客員教授就任。2013 年 4 月 「三鷹高次脳機能障害研究所」開設。

## 現在

神戸大学大学院保健学研究科客員教授。三鷹高次脳機能障害研究所所長。

言語聴覚士。医学博士。専門は神経心理学。首都大学東京大学院人間健康科学研究科、上智大学外国語学部、国立障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科ほか非常勤講師。研究所での相談・臨床業務の傍ら、研究・教育・講演活動を全国各地で展開。

## 主な著書

「失語症を解く 言語聴覚士が語ることばと脳の不思議」人文書院、2003

『話せない』と言えるまで 言語聴覚士を襲った高次脳機能障害」医学書院、2013

「まさか、この私が 脳卒中からの生還」教文館、2014 ほか、教科書等多数

## ～先生からの一言メッセージ～

私は失語症や半側空間無視をはじめとする高次脳機能障害のリハビリテーションに 30 年以上従事してきた言語聴覚士です。神戸大学医学部教授として臨床・研究・教育すべてが順調だったまさに絶頂期に脳梗塞を発症し、左片麻痺と専門としていた多彩な高次脳機能障害を負いました。その後、本障害は専門家である当事者セラピストとして対応したので、大半が軽症化しました。

本講演は発症後 9 年経過した現時点において「高次脳機能障害を専門とする当事者セラピストから伝えたい高次脳機能障害へのかかわり方」を中心にお話させていただきます。皆さんの臨床のヒントになれば幸いです。